

# 2022年度上期決算実績

2022年11月8日



**日鉄物産**  
NIPPON STEEL TRADING

# Executive Summary

## 2022年度上期決算実績および2022年度通期見通し

- 中長期経営計画の施策実行効果に加え、国内鋼材価格の上昇等を背景に、上期の経常利益は270億円と半期ベースでの過去最高益を更新
- 世界の政治・経済やサプライチェーンの動向、国内外の鋼材需給及び価格等は不透明なるも、中長期経営計画施策の確実な実行等により、通期経常利益460億円達成を目指す。

			2021年度	(8月見通し)		2022年度	年度増減
	上期	下期	実績	上期	下期見通し	見通し	
経常利益 (億円)	227	250	478	(255) <b>270</b>	(175) <b>190</b>	(430) <b>460</b>	×18
*当期純利益 (億円)	159	194	354	(170) <b>171</b>	(130) <b>139</b>	(300) <b>310</b>	×44
配当 (円)	160	190	350	(170) <b>170</b>	(130) <b>140</b>	(300) <b>310</b>	×40

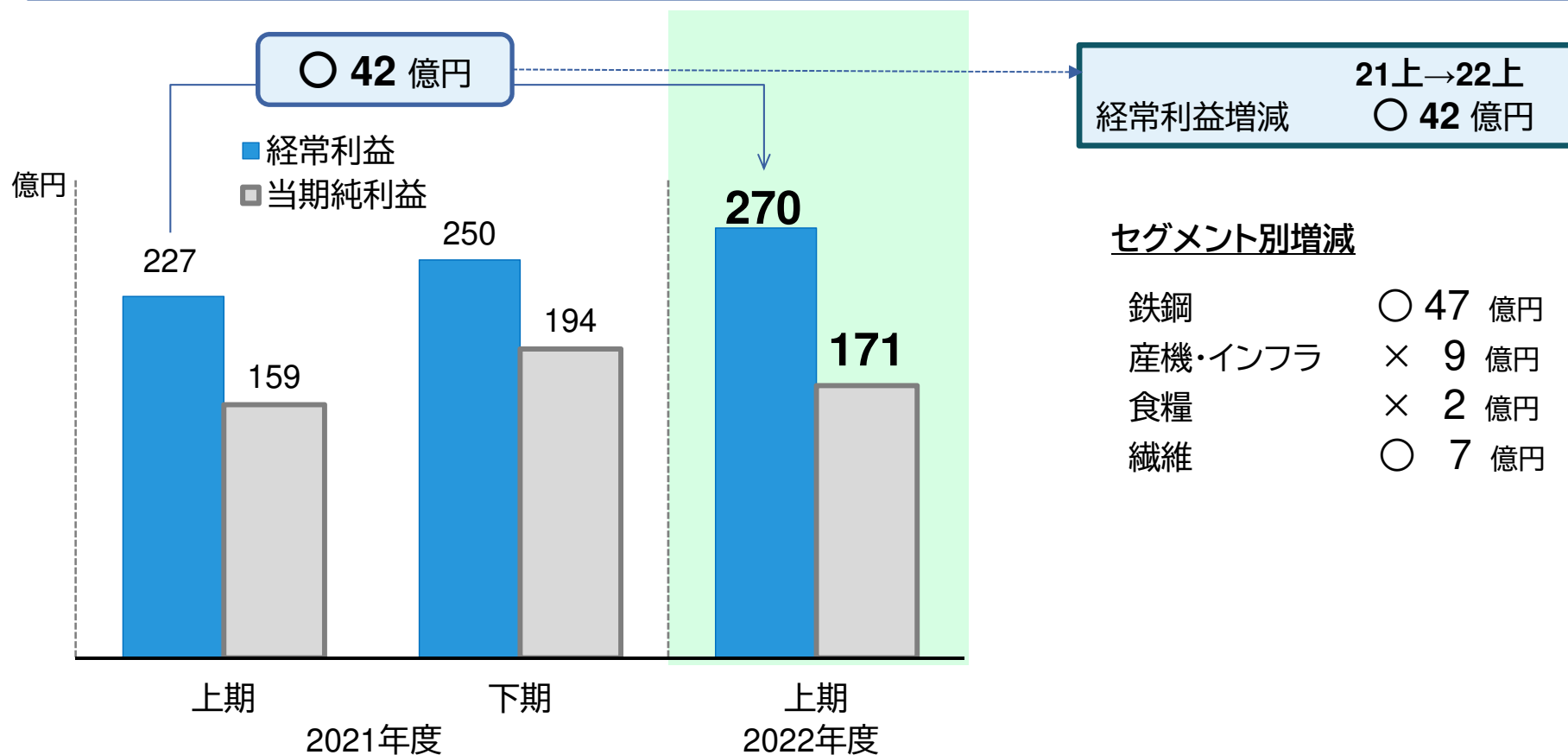
\*親会社株主に帰属する当期純利益(以下同じ)

## 中長期経営計画の進捗状況

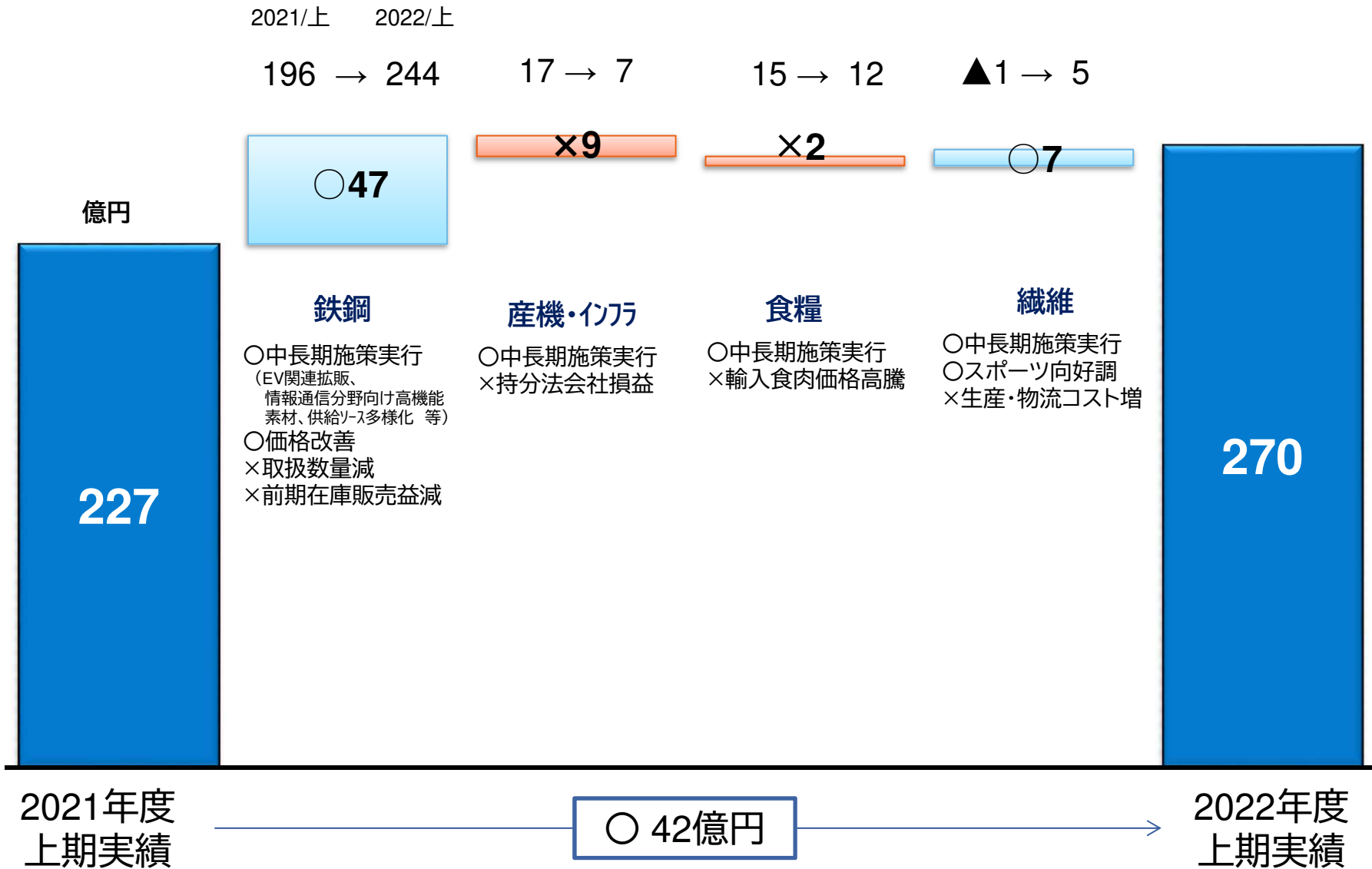
- ~2022年度見通し 事業基盤強化 ○ 78億円 (計画対比進捗率 90%)  
成長戦略 ○ 111億円 ( // 110%)
- 環境変化に拘わらず中長期経営計画で掲げた強靱な成長企業の実現に向け、補強策を検討・実行

# 2022年度上期決算のポイント

- 中長期経営計画施策(事業基盤強化、成長戦略)の実行に加え、国内鋼材価格の上昇等により、経常利益は過去最高益を記録
- 経常利益 270億円 (前年同期比 ○42 億円)
- 当期純利益 171億円 ( // ○12 億円)
- 中間配当 170円/株 ( // ○10 円/株)



# 経常利益増減要因 (2021年度上期実績→2022年度上期実績)



# 鉄鋼事業經常利益増減 (2021年度上期実績→2022年度上期実績)

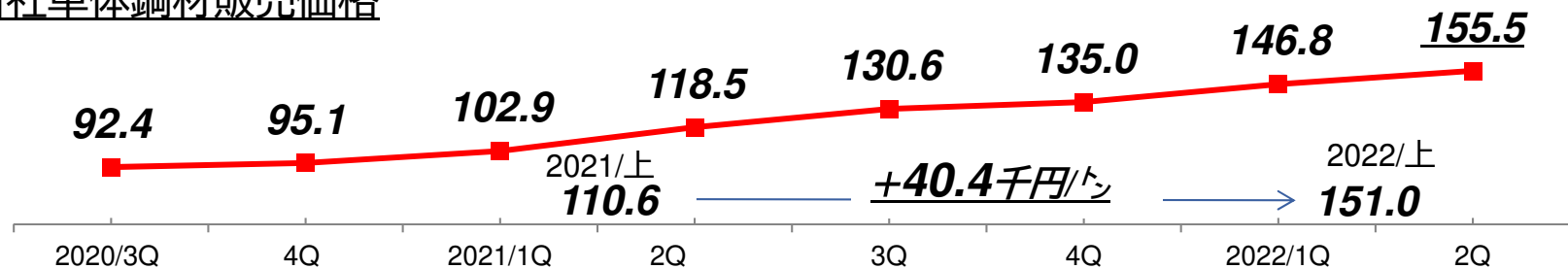


2021/上期実績 ———— 經常利益 ○ 47億円 ———— 2022/上期実績

## 当社連結鋼材取扱量

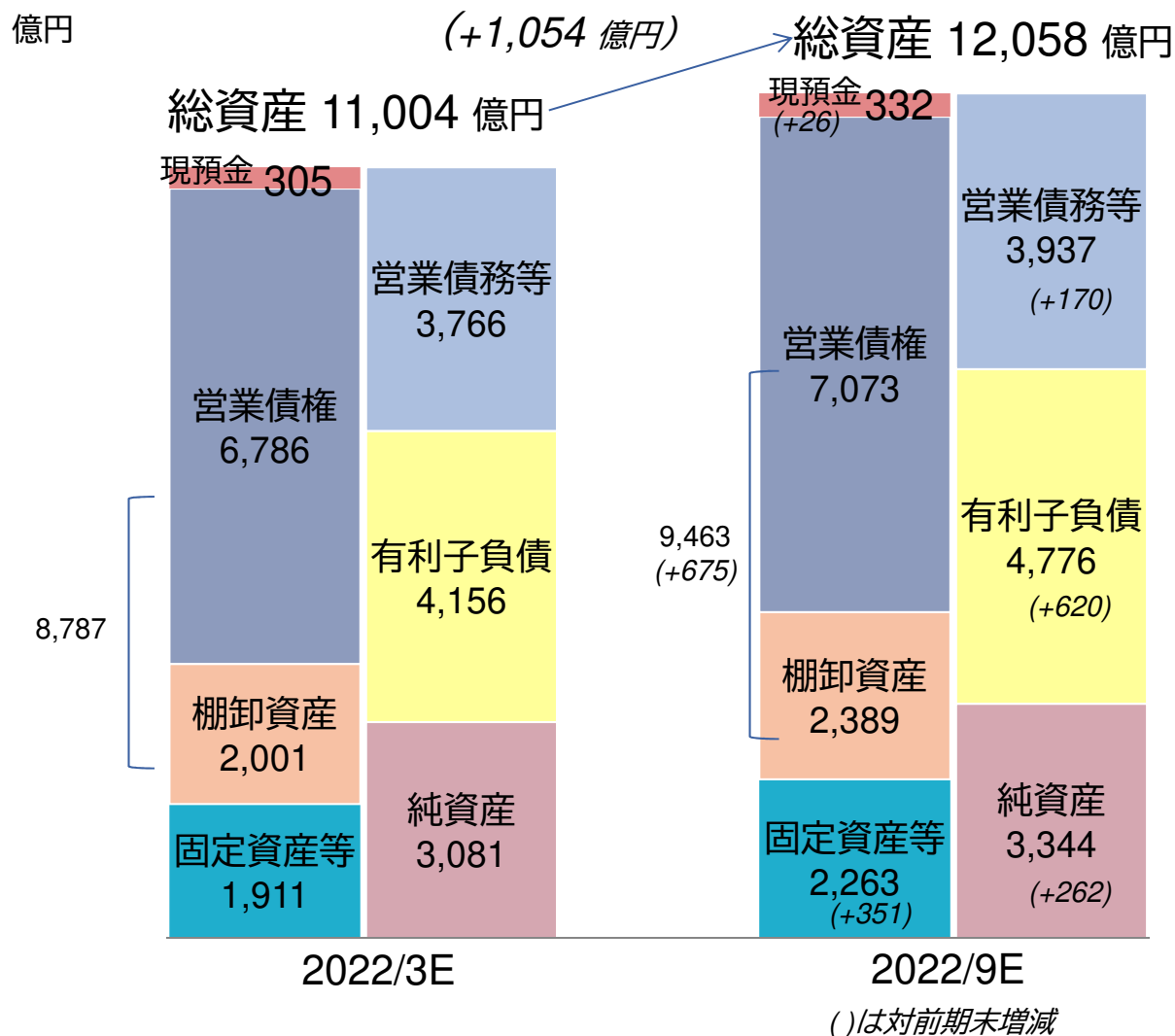
万ト	2021/上期	2022/上期	増減
連結計	937	850	▲ 87
単体	711	633	▲ 78
子会社	226	218	▲ 9

## 当社単体鋼材販売価格



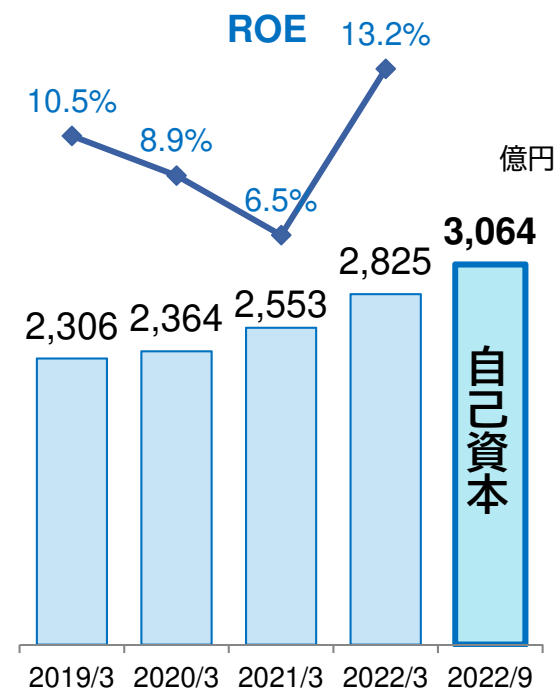
# バランスシートの状況

- 取引規模の拡大に伴い営業債権・棚卸資産等も増加



	2022/3E	2022/9E	対比
自己資本比率	25.7%	25.4%	× 0.3%
Net D/E	1.36倍	1.45倍	× 0.09倍

## 自己資本とROEの推移



# キャッシュフローの状況

億円		2021/上期	2022/上期
	税金等調整前当期純利益	235	264
	減価償却費	31	28
	持分法による投資損益	-18	-22
	金利・税他	-78	-233
	小計	169	37
	運転資本増減	-651	-429
	営業キャッシュフロー	-481	-392
	投資キャッシュフロー	-20	-25
	フリーキャッシュフロー	-501	-417
	財務キャッシュフロー (有利子負債増減等)	194	405
	現預金等増減	-300	22

内 設備・事業投資 -63

# 2022年度業績見通し

- 足元の業績好転を踏まえて通期業績予想・配当予想を上方修正
- 通期で経常利益 460億円、当期純利益 310億円、配当 310円(配当性向 32.3%)の見通し

億円	2021 年度 実績	(8月) 2022 年度 見通し		(今回) 2022年度 見通し	年度増減	対前回 見通し
		上期 見通し	下期 見通し			
鉄鋼	432	234	140	374	×	○ 34
産機・インフラ	21	6	15	21	×	×
食糧	29	12	12	24	×	○ 1
繊維	▲ 5	3	8	11	○	-
<b>経常利益</b>	<b>478</b>	<b>255</b>	<b>175</b>	<b>430</b>	<b>×</b>	<b>○ 30</b>
<b>当期純利益</b>	<b>354</b>	<b>170</b>	<b>130</b>	<b>300</b>	<b>×</b>	<b>○ 10</b>
<b>配当(円/株)</b>	<b>350</b>	<b>170</b>	<b>130</b>	<b>300</b>	<b>×</b>	<b>○ 10</b>
<b>配当性向</b>	<b>31.9%</b>			<b>32.3%</b>		

(参考)  
当期純利益  
前期対比

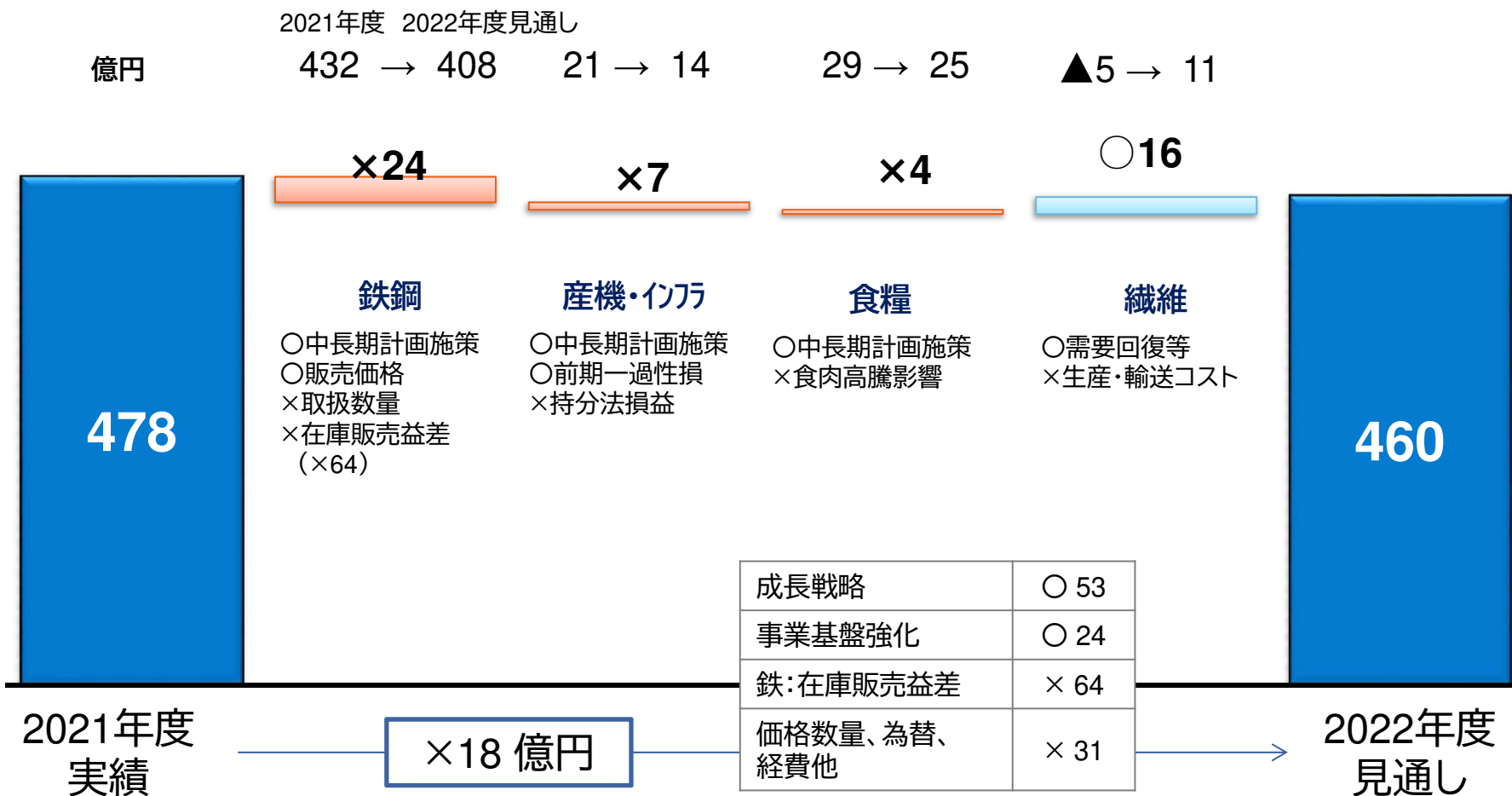
2021年度	2022年度 見通し	増減
354億円	310億円	× 44億円

経常利益減 × 12  
 前期持分変動益減 × 37  
 その他特別損益等 ○ 5

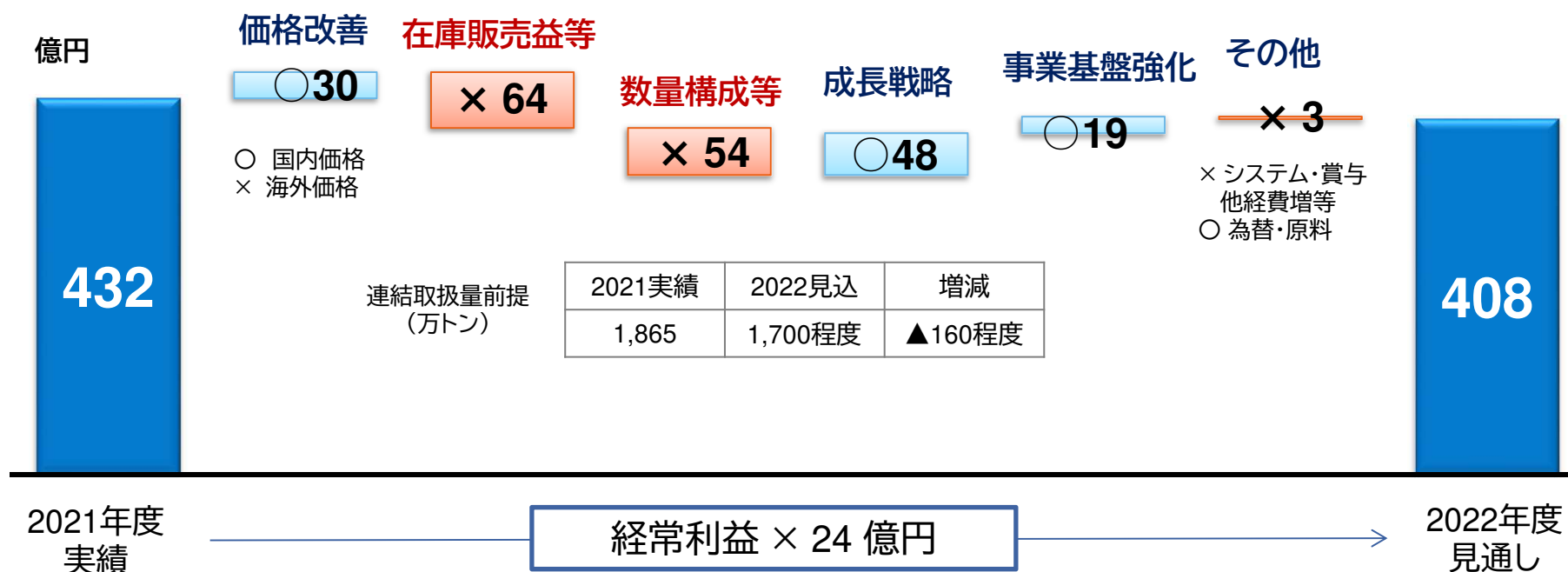


# 経常利益増減要因 (2021年度実績→2022年度見通し)

- 世界経済の減速、円安の影響等景気の先行きは不透明なるも、中長期経営計画施策の前倒し実行、補強策の推進等により前期並みの経常利益実現を目指す



## <参考>鉄鋼事業経常利益増減 (2021年度実績→2022年度見通し)



## <参考> 2022年度経常利益 前回見通しとの差

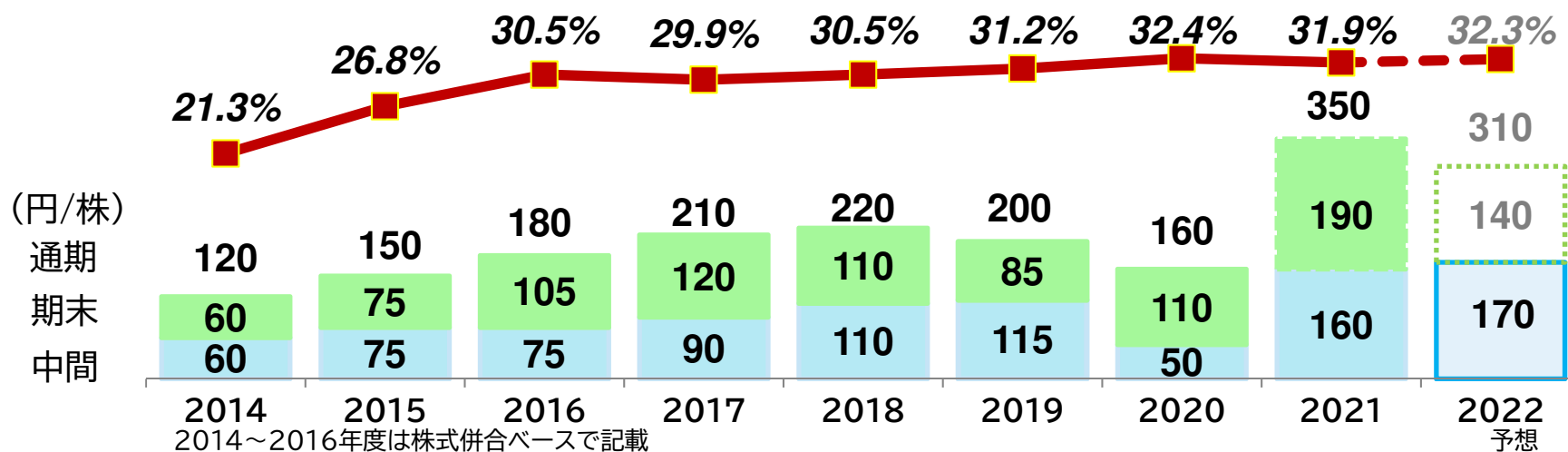
億円	8月見通しとの差
鉄鋼	○ 34
産機・インフラ	× 7
食糧	○ 1
繊維	-
経常利益	○ 30

○ 国内市況、× 取扱数量  
× 持分法会社

# 配当

## 当社配当の推移

	2020年度	2021年度		2022年度 予想
		中間	期末	
当期純利益	159 億円	159 億円	194 億円	354 億円
配当	160 円/株	160 円/株	190 円/株	310 円/株
配当性向	32.4%		31.9%	32.3%



## (参考)配当方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと考え、財務体質の改善を図りつつ、連結配当性向30%以上を目安に業績に応じた配当を行うことを基本方針といたしております。

## 日鉄物産株式会社企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す  
高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



**日鉄物産**  
NIPPON STEEL TRADING